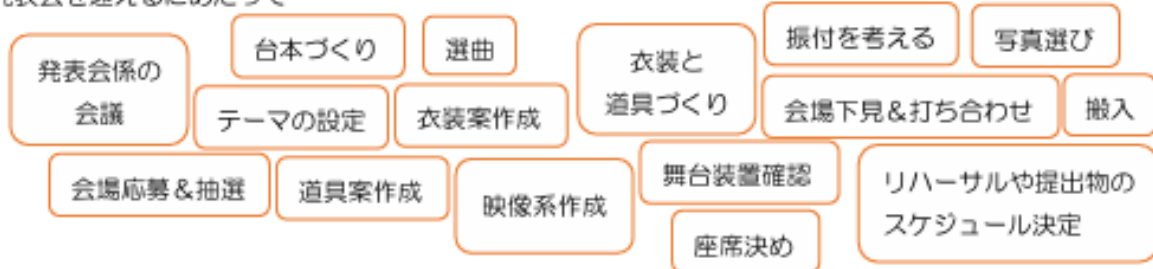


行事のウラがわ

早いもので年が明けてから一ヶ月、もうすぐ生活発表会ですね！

「生活発表会」は1年間の保育の集大成として、これまでの取り組みを創作劇にして発表します。

発表会を迎えるにあたって…



これらの様々な準備が必要になります。

係の職員はもちろんのこと、担当を割り振って台本を作ったり、衣装を考えたり、曲を探したり…一人ひとりの力が合わさることで、皆様にご覧いただけるような一つの舞台が完成します。

こうやって項目を挙げてみると、改めて「行事を開催するって大変なことだな」「職員もやりきっていてすごいなあ」と思わず感心してしまいます（笑）

ただこれらは自園だけの力ではありません。

衣装を貸し借りしたり、案を出し合ったり、当日に裏方のヘルプとして出勤し合ったりと、姉妹園の協力があって成り立っています！

そして今後の一番の問題は、会場の確保です。

これまでは当園が渋谷区初の認定こども園だったこともあり、渋谷区から「さくらホール」を優先的に使用させていただいていました。

それが来年度から一般の方と同様の抽選方式になり、今後は会場探しに翻弄しなければなりません。

（土日祝日のホールは激戦なのです）

抽選に外れれば、次々と他の施設を探さなくてはならず、姉妹園ではこの点が一番苦労しているところです。

土日を優先して少し遠い会場にするか、平日で近い所か、どこも取れなければ園内開催か、悩みどころです。（大きな声では言えませんが、会場によって利用料も0が一つ増えるほど大幅に違います…）

何故そうまでしてホールにこだわるのか、というと、園ではモンテッソーリ教育を基盤にしており

【子どもには本物体験を】と思っているからです。

一般的に舞台上がる機会は少ないと思いますが、プロの照明も呼び、緊張しながらも広い舞台に立つという経験は、きっと何かの糧になります。

また普段の保育の中でも**【本物志向】**を基に教材や食器など、子ども達に提供しています。

さて生活発表会では毎年『テーマ』を設け、それを柱として、出し物とつなぎ合わせながら保護者の方にも楽しんでワクワクできる発表会を目指しています。

—昨年テーマは『Film Pumpkins Award』、昨年は『ニシハラフェス』です。

今年は何でしょう。覚えていますか？……そう**【わ！】**です。

本番の子ども達の活躍をお楽しみに～！

（中野）